

# 長田中 学校だより 元気発信感動ながた



第76号 令和5年12月1日発行  
金沢市立長田中学校  
Email nagata-j@kanazawa-city.ed.jp  
学校ホームページURL  
http://cms.kanazawa-city.ed.jp/nagata-j/

\*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

先日11月29日(水)には、金沢市教育委員会の方をお迎えして、学校の様子、授業の様子、生徒のみなさんや先生方の様子を見ていただきました。教育委員の方から、「訪問中、大勢の生徒から「こんにちは」と大きな声であいさつがあり、さわやかな気持ちになりました。また、どの授業も明るい雰囲気、生徒も先生も楽しそうに活動している様子がうかがえました」とお褒めの言葉をいただきました。掲示物についても、これまでの活動の様子が至る所に掲示され、特に「演劇活動」の掲示物では、生徒一人一人の温かいメッセージが書かれ、演劇にかける生徒のみなさんの熱い思いが伝わってきたとのことでした。生徒のみなさんの成長や先生方の取組が評価されたことを本当にうれしく思います。今日から始まる12月も頑張っていきましょう！

## 12月の生活目標「生活環境を整えよう」 学習目標「自分の弱点を見つけて克服しよう」

生徒のみなさん、期末テスト、お疲れ様でした。11月の生活目標「授業を大切にしよう」、学習目標「計画的にテスト勉強に取り組もう」の取組が、期末テストに結果として表れましたか。

12月の生活目標は「生活環境を整えよう」、学習目標「自分の弱点を見つけて克服しよう」です。生活目標では、①8時登校完了、5分着席、②靴のかかとそろえ運動、③ロッカーや引き出しの整理・整頓、④長田清掃などポイントを意識して取り組んでほしいと思います。学習目標では、まず、期末テストの振り返りをしてください。また、冬休みに向けて、苦手な科目や単元を見直し、3学期に向けて、できるだけ積み残しがないようにしていきましょう。

3年生は、1週間後に「実力テスト」があります。一般に、本格的に勉強を始めてから成果が出るまで、早い人で3か月、遅い人でも半年かかるといわれています。なかなか結果が出ないで苦しんでいる人もそろそろ結果が出始めるころです。あきらめずに家庭学習を頑張してほしいと思います！

## AI時代に生きる子どもたちのデジタル技術との接し方・学び方 ～市校長会研修で、IT業界の方から、最新のAIのお話等をうかがいました～

11月30日(木)、教育プラザ富樫で、演題「AI時代に生きる子どもたちのデジタル技術との接し方・学び方」を拝聴しました。講師の相羽大輔氏は(株)ドリームガレージ代表取締役社長で、市PTA協議会会長を務められています。最先端のAI等のお話を聞く貴重な機会でした。相羽様、ありがとうございました。印象に残った2つのキーワードについて紹介します。

「モラルパニック」: 不安の高まりの結果、携帯電話の害悪を訴えて携帯電話を子供から取り上げたり、携帯電話販売を禁止したり携帯電話サイトを一律閉鎖したりする運動が社会全体に一気に広がる。この社会不安と運動はモラルパニックである。(ネット記事参照)

「デジタル・シティズンシップ」: デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力のこと。総務省や文部科学省では、学校はもちろんご家庭でも取り組める「デジタル・シティズンシップ教育」について、サイトを開設しています。12月の学校だよりでは、数回に分けてこの取組について紹介させていただきます。

2つのデジタル・デバイド解消が急務  
①学校・家庭間のデバイド/②大人・子ども世代間のデバイド(モラルパニック)

勉強にICTは不要  
一貫主義  
健康被害・依存が心配

デジタル生活が当然  
大人は禁止ばかり  
端末で宿題やっチャメなの？

	これまで(GIGA前)	これから(GIGA後)	大層に変わる
学校	デジタルは非日常 教員が使わせる教具 ネットコミュニケーションなし	デジタルは日常 子どもが道具立てる文具 情報ライフライン	
家庭	日常はデジタル化 生活に不可欠 私的コミュニケーション 勉強以外の情報消費	日常デジタル利用の深化 生活と学びに不可欠 私的公的コミュニケーション 情報消費+知的生産	学校の影響を受ける
	大人の指導>子どもの活用	子どもの自律>大人の介入	

【総務省家庭で学ぶデジタル・シティズンシップより一部抜粋】